

あつぎ市議会だより



第248号 発行日/2020年2月1日 発行/厚木市議会 編集/広報広聴特別委員会 〒243-8511 神奈川県厚木市中町三丁目17番17号 ☎046(225)2700

12月定例会議

一般質問 防災対策・教育・まちづくりなどを論議

条例の制定・改正・廃止、補正予算など24議案を可決

12月定例会議は、11月28日から12月20日までの会議期間23日間で開かれました。
市長から初日に提出された議案は、条例の制定・改正・廃止のほか、工事請負契約の締結、指定管理者の指定、清川村および愛川町との一般廃棄物の処理に関する事務委託に係る協議、厚木愛甲環境施設組合の規約変更に係る協議、令和元年度一般会計・特別会計・病院事業会計補正予算などの24議案で、質疑終了後、上程された陳情とともに

所管の常任委員会に付託されました。
本会議第2日から第4日までの3日間、議員23人が登壇し、一般質問が行われました。
また、休会中に各常任委員会・分科会が開かれ、付託された議案や請願・陳情に対し、慎重な審査が行われました。
最終日、各常任委員長から審査結果が報告され、4会派などによる討論の後、採決の結果、委員会に付託された全議案を可決しました。

要の措置を講ずるため、改正するものです。
「厚木市営自転車等駐車場条例」の主な改正内容は、新設する市営自転車等駐車場の名称、位置および駐車料の額を定めるとともに、他の市営自転車等駐車場に係る駐車料の額を改定するため、改正するものです。
「厚木市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例」の主な改正内容は、動物の死体の処理に係る手数料の額を改定するため、改正するものです。
「厚木都市計画下水道事業受益者負担に関する条例」の主な改正内容は、市街化調整区域に公共下水道を設置するに当たり、地方自治法の規定に基づき分担金に関する規定を設けるほか、所要の措置を講ずるため、改正するものです。
「厚木市公共下水道使用料条例」の主な改正内容は、公共下水道使用料の減免に関し、その適正化を図るほか、所要の措置を講ずるため、改正するものです。
「厚木市消防団員の定

員、任免、給与、服務等に関する条例及び厚木市下水道条例」の主な改正内容は、成年被後見人などの権利の制限に係る措置の適正化を図るため、改正するものです。

条例の廃止

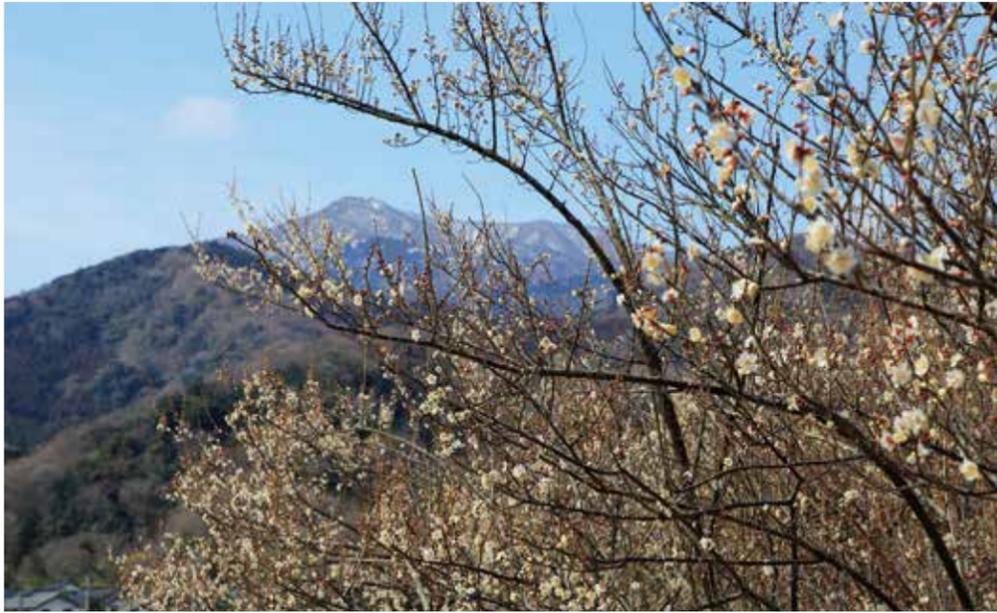
可決した条例の廃止議案は、「厚木市立野外ステージ条例を廃止する条例」の1件です。内容は、厚木市立野外ステージの土地を地権者に返還する必要が生じたことにより、同ステージを解体するため、廃止するものです。

工事請負契約

可決した工事請負契約の締結議案は1件です。
◇契約の目的 令和元年度公共下水道厚木排水区雨水貯留管整備工事（継続）
◇契約金額 25億393万7700円
◇契約の相手方 戸田・小島・関野特別共同企業体

指定管理者の指定

可決した指定管理者の指定議案は1件です。施設の名称、指定管理者、指定期間は次のとおりです。
◇厚木市荻野運動公園 荻野運動公園マネジメント共同企業体（株式会社オリエンタルコンサルタンツ（構成員代表者）



梅の花。「令和」の2文字も万葉集「梅花の歌」の序文から引用されたという

条例の制定

可決した条例の制定議案は、「厚木市公共下水道事業の設置等に関する条例」の1件です。内容は、地方公営企業法の規定に基づき、本市の公共下水道事業の設置などについて必要な事項を定めるため、制定するものです。

条例の改正

可決した条例の一部改正議案は9件です。
「厚木市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例」の主な改正内容は、市議会議員の期末手当の支給割合を改定するため、改正するものです。
「厚木市常勤特別職

「厚木市災害弔慰金の支給等に関する条例」の主な改正内容は、災害弔慰金の支給等に関する法律などの一部改正に伴い、災害弔慰金などの支給に関する事項について調査審議するための付属機関を設置するほか、所

「厚木市公共下水道使用料条例」の主な改正内容は、公共下水道使用料の減免に関し、その適正化を図るほか、所要の措置を講ずるため、改正するものです。
「厚木市消防団員の定

一般廃棄物処理事務委託の協議

可決した一般廃棄物処理事務委託の協議議案は3件です。
「厚木市と清川村との一般廃棄物（し尿及び浄化槽汚泥）の処理に関する事務委託に係る協議」および「厚木市と清川村との一般廃棄物（可燃性一般廃棄物及び粗大ごみ）の処理に関する事務委託に係る協議」の内容は、清川村の一般廃棄物処理の事務のうち、し尿および浄化槽汚泥ならびに可燃性一般廃棄物および粗大ごみの処理について引き続き事務の委託を受けるため、清川村と協議するもので、「厚木市と愛川町との一般廃棄物（可燃性一般廃棄物）の処理に関する事務委託に係る協議」の内容は、愛川町の一

中町2丁目13番15号）
指定期間は、令和2年4月1日から7年3月31日まで。

主な内容

- ◆一般質問 2～6面
- ◆広報広聴特別委員会 3面
- ◆委員会・分科会の審査 7面
- ◆本会議の審議結果 8面

2面下段に続く



今定例会議では、23人の議員が3日間にわたり一般質問を行い、市政全般の施策について市長などの考えを問いました。主な質問と答弁の要旨を紹介します(掲載は質問順)。

防災対策について 厚木市の考えは

ネクストあつぎ 高橋 豊議員



問 今後の対応は。

答 市長 本市でも大型化した台風により倒木などの被害が発生している。こうした災害から市民の皆さまの生命、身体、財産を守るため、地域防災計画に基づき万全な対応を図るべく、さまざまな情報収集に努め、正確かつ迅速な情報提供を行うとともに、避難支援、応急活動や復旧活動などの対策を講ずるほか、関係機関との連携の強化など、防災に対するさらなる取り組みを進めていく。

●厚木市空家等対策計画

問 進捗状況と今後の対応は。

答 市長 主な取り組みとして、民間事業者など8団体と協定を締結し、

災害時における電力の 早期復旧の対策は

新政あつぎ 高橋 知己議員



問 和歌山県と関西電力は、災害時における停電復旧作業の連携等に関する協定を結び、従来、電力会社が行う、電線にかかる倒木処理などを、自治体で行なうことを可能にしている。厚木市と電力会社でも同様の協定を締結すること、さらに、神奈川県に対し、協定締結を提案することが必要と考えるが、見解は。

答 市長室長 現在、電力の早期復旧作業に対して

●台風19号で開設された 47カ所の避難所

問 浸水の可能性がある1階体育館が避難先であったり、トイレなど生活環境に課題のあるところがあった。また、中学校の避難所では校舎の利用も求められるのではないか。風水害に備えた避難所とその運営について再検証が必要と考える

答 市長室長 今後、市のホームページなどで、各避難所の収容人数、避難者数、トイレ、避難所の設置階数などの情報を発信したいと考えている。

災害に強いまちづくり に向けた取り組みは

ネクストあつぎ 奈良 直史議員



問 今後の道路整備や改修において、無電柱化を視野に先行的に整備を検討することは可能か。

答 道路部長 地震などの災害時に、電柱の倒壊で緊急車両などの通行や地域住民などの避難に支障を来す恐れが高いことから、防災上重要と思われる道路について、無電柱化も視野に入れる必要があると考えている。

問 国が平成31年3月に避難勧告等に関するガイドラインを改定した。保健師の健康相談などを受け、健康寿命の延伸につながるものと考えている。

答 市長室長 警戒レベルを運用する中で、市民の皆さまから、指示内容が分かりづらい、区別がでないなど、多くのご意見をいただいている。警戒レベルの名称や内容について、より分かりやすい避難情報となるよう、国、神奈川県に対し今後要望していきたい。

問 台風15号を教訓として、災害時の停電の長期化に対する対策を考えた。小中学校のエアコン

が、見解は。

答 市長室長 安心して過ごせる環境づくりを進める。今回、校舎を利用した所もあり、今後もその利用を教育委員会と調整していきたい。

●各避難所の設備や生活環境などの情報発信

問 事前にこうした情報を示すことで、体に不安を感じる方などが、避難所を選ぶことが可能になると思うが、考えは。

答 市長室長 今後、市のホームページなどで、各避難所の収容人数、避難者数、トイレ、避難所の設置階数などの情報を発信したいと考えている。

は電気式がほとんどだと思いが、今後の増設計画の際には、電源喪失を回避でき、発電機も併設できる、ガスヒートポンプ式を検討してもらいたい。教育総務部長 多額の費用がかかるため、ライフレインの整備状況や教室の位置などの条件について、現地を確認しながら比較検討し、トータルコストを踏まえた上で熱源方式や導入方式を検討していきたい。

1面から続く

務のうち、可燃性一般廃棄物の処理について引き続き事務の委託を受けるため、愛川町と協議するもので、いずれも議会の議決を求められたものです。

環境施設組合 規約変更の協議

「厚木愛甲環境施設組合の規約変更に係る協議」の議案が提出され、可決しました。内容は厚木愛甲環境施設組合の共同処理する事務を変更するに当たり、厚木愛甲環境施設組合規約の一部を変更することについて、愛川町および清川村と協議する必要があるため、議会の議決を求められたものです。

補正予算

可決した補正予算議案は、一般会計・5つの特別会計・病院事業会計の7件です。

一般会計補正の主な歳入の内容は、台風19号の影響により、崩落した面の測量などを行うための七沢自然ふれあいセンター維持補修事業費や、崩落したのり面の修繕を実施するための斎場施設整備事業費、農業用取水口に堆積した土砂をしゅんせつするための道路等維持補修事業費、崩落した林道のり面の修繕を実施するための林道維持管理事業費、備蓄品などを補充するための防災備蓄品整備事業費、冠水したスポーツ施設の修繕を実施するための体育施設維持補修事業費などを増額するほか、台風15号により被災した農業用施設などの再建や修繕に必要な経費の一部について、国および神奈川県と協議して補助するための被災農業者向け経営体育成支援事業補助金や国庫補助金を活用し認定子ども園の防犯対策に係る費用の一部を補助するための幼稚園型認定こども園整備事業費補助金、保護基準の見直しに伴う生活保護費支給事業費などを増額するものです。

各会計の補正後の予算額、既定の歳入歳出予算に対する増減額(カッコ内)は次のとおりです。

- ◇一般会計 889億413万1千円(14億9449万8千円増)
- ◇公共用地取得事業特別会計 14億2214万8千円(314万6千円増)
- ◇後期高齢者医療事業特別会計 28億1616万8千円(16万8千円増)
- ◇国民健康保険事業特別会計 226億6121万1千円(78万5千円増)
- ◇介護保険事業特別会計 145億9854万円(54万円増)
- ◇公共下水道事業特別会計 59億8873万9千円(73万9千円増)
- ◇病院事業会計 収益的

支出予定額 116億363万8千円(医業費用 1300万円減・医業外費用 1300万円増)

議員の住所・ 電話番号変更

池田議員から住所等変更届が提出され、住所が愛甲3-26-15に変更されました。望月議員から住所等変更届が提出され、電話番号が295-8420に変更されました。

政治家の寄付は 禁止 有権者が求める ことも禁止

政治家が選挙区内の人に、お金や物を贈ることは、法律で禁止されています。違反すると罰せられます。また、有権者が寄付を求めることも禁止されています。次のことは違反になります。

- ◆落成式・開店祝、葬式などの花輪・供花
- ◆入学祝・卒業祝、お中元やお歳暮、病氣見舞い
- ◆地域のお祭りへの寸志や飲食物の差し入れ
- ◆秘書などが代理で出席する場合の結婚祝、葬式の香典
- ◆町内会の集会や旅行などの催し物への寸志や飲食物の差し入れ



あつぎマラソンの開催方法を見直す考えは

新政あつぎ 高村 真和議員



問 参加者の健康管理などに配慮し、開催時期を現在の10月から、猛暑や台風の影響を受けない冬場に変更できないか。

答 社会教育部長 気候の変化は認識している。今までの経緯も踏まえ、県内のマラソン大会やスポーツ事業を含めた本市主催事業の日程を考

問 多くの市民ランナーが参加できるよう、10キロの部の制限時間を緩和する考えは。

答 社会教育部長 道路交通事情により難しい面はあるが、実行委員会

相川地区に新たな避難所を確保する考えは

ネクストあつぎ 神子 雅人議員



問 洪水時、相川地区の指定緊急避難場所は、相川公民館のみであったが、台風19号の際、指定緊急避難場所として、県の総合防災センターにも開設され、多くの市民が避難した。これは今回だけなのか。今後の考えは。

答 市長室長 台風19号では、県総合防災センターと平常時から連携を密にしていたことにより、指定緊急避難場所として開設することができた。今後、地域の皆さまと相談し、同センターと災害協定が締結できるかどうか、検討していきたいと考えている。

問 災害時に避難所となる公民館、小中学校の約7割に、常設でLPガ

スボンベが配置されており、災害時に危険な配送などをしなくても発電機に対するホースを整備することにより、LPガス発電機にワンタッチで接続し発電が可能である。すぐに使えるという意味では、初期発電に大変良いLPガス発電機を各公共施設に設置する考えは。

答 市長室長 各小中学校には、ガソリン発電機の整備を始めている。LPガスについては、公益財団法人神奈川県LPガス協会厚木支部と災害時における生活必需品に関する協定を締結し、災害時におけるLPガス、また、LPガス使用器具などの確保に努めている。多様な燃料の確保の

や厚木警察署などと引き続き協議していく。

●**獣害防護網**
問 台風による被害の状況と修繕の見通しは。

答 環境農政部長 台風15号により50カ所の被害が発生し、19号については被害箇所を調査中である。山から人里への獣の侵入を防止する上で重要な役割を担っており、迅速に対応していきたい。

●**街路樹の管理**
問 課題として、巨木化による根上がりや台風

による倒木や枝折れがあるが、解消に向けた対策は。

答 道路部長 平成30年度から根上がり箇所の調査を実施しており、段階的に補修している。強風による倒木の事前予知は困難であるため、計画的な間引きや巨木化しにくい樹種への更新事業を実施している。



公式ウェブサイトの記載は正確か

あつぎの会 井上 敏夫議員



問 森の里東土地地区画整理事業は、厚木環状3号線を区域から外している一方、公式ウェブサイトに掲載している事業計画には区域内であるような記載があるが正確か。

答 市街地整備担当部長 記載内容は誤りでないと認識しているが、環状3号線を土地地区画整理事業で施工していると誤解を招かないよう、注意書きや、酒井地区との記載項目の整合など、わかりやすい表記を心掛ける。

●**税の応益負担**
問 厚木環状3号線の事業費は62億円強ある。厚木環状3号線は森の里東のためにあるとの答弁

必要性については、引き続き研究をしていきたい。

●**学校教育**
問 外国籍市民について現状と課題は。

答 学校教育部長 市立小中学校においては、外国籍の児童・生徒が475人在籍しており、国際教室の設置や母語のわ

小学校の新学期指導要領 全面実施に伴う準備は

公明党 田上 祥子議員



問 2020年度から英語教育は3、4年生で年間35時間、5、6年生で年間70時間に増えるが、授業時間の確保の準備はできているのか。

答 学校教育部長 子どもたちの活動が窮屈にならないよう、市立の小学校は全て、夏休み期間中から授業を始めており、5日ほど授業日数を増やす方向で検討している。

●**Society5.0 (超スマート社会)**
問 Society 5.0時代に向けて、どのような人材の育成を考

えているか。

答 教育総務部長 多くの人たちと協働で課題解決に取り組む高度なコミュニケーション能力を持った人材の育成が必要だと考えている。現在策定中の第2次厚木市教育振興基本計画の中で検討していきたい。

●**公共工事平準化への取り組み**
問 ゼロ市債の活用

のほかに、フレックス工期契約制度や早期契約制度などの検討をしたか。また、導入する考えは。

答 学校教育部長 市立小中学校においては、外国籍の児童・生徒が475人在籍しており、国際教室の設置や母語のわ

問 総務部長 先進事例や近隣自治体の動向に留意し、工事を所管する関係部署と連携をとりながら研究していく。

問 発注の前年度に設計や積算を行い、年度当初にすぐ発注ができるようにするなど、発注手続の開始をできるだけ早める取り組みの検討は。

答 総務部長 建築工事などで活用しており、極力そういう方向に向けていけるよう工夫したい。

●**厚木市総合計画の進捗と次期計画の検討状況は**

日本共産党 栗山 香代子議員



問 第9次厚木市総合計画あつぎ元気プランの進捗は。

答 市長 現在、第4期実施計画に基づき、6つの重点プロジェクトを中心に計画の総仕上げに取り組んでいる。各取り組みに対する施策評価や市民満足度調査の結果は、おおむね良好であり、計画は順調に進捗していると認識している。

問 次期総合計画についての検討状況は。

答 市長 公募市民や学識経験者などで構成する市民検討会議を設置す

るとともに、さまざまな立場の方を対象とした住民ワークショップを開催するなど、市民協働により検討を進めている。今後も、各地区で意見交換会を実施するなど、より多くの市民の皆さまからご意見をいただきながら、検討を進めていきたい。

問 総合計画や個別計画の策定、さらに市民の声に対応するには、時間も手間もかかる。職員をしっかりと確保する必要があると思うがどうか。

答 総務部長 計画の策定に限らず、的確な事務執行には職員の力が大きなウェイトを占める。職員の能力を開発、育成するために、研修の実施や個々の意向などを考慮し、業務量に合った適材適所の配置に努めている。やる気のある元気な職員、地道な努力ができる職員などを採用、育成し、能力を遺憾なく発揮できる職場環境を整えることを念頭に、職員の採用や育成、配置を進めたい。

広報広聴 特別委員会から

厚木市議会では、市民の皆さまに開かれた議会、身近な議会を目指し、これまで年間2回ほどのペースで議会報告会を開催しております。昨年11月には、第14回議会報告会として16日に一般市民29人の皆さまと、あつぎ市民交流プラザにて「家庭ごみの戸別収集と有料化」、「市庁舎を含む複合施設の建設」をテーマにワールドカフェ方式を採用した意見交換会を開催し、また、25日には厚木市明るい選挙推進協議会の16人の委員と「投票率の向上」などの意見交換を行いました。それぞれ、活発で有意義な意見交換会となりました。

市民の皆さまからいただいたご意見や感想は、市議会ホームページにも掲載しておりますので、ぜひ、ご覧ください。(新井啓司)



河川の監視カメラ 増設の考えは

日本共産党 池田 博英議員



問 台風19号では、川幅の狭い場所や住宅密集地の住民から心配の声を多数聞いている。現在、厚木市で管理している準用河川の恩曹川、善明川、山際川には、4カ所に監視カメラが設置されているが、増設の検討は。また、1級河川の6河川には8カ所設置されているが、1カ所設置されているが、神奈川県とも協議し、重要な施設のある箇所に監視カメラの設置を要望できないか。

答 都市整備部長 恩曹川には現在2カ所設置しているが、今後、上流と中流域の住宅密集地にそれぞれ1カ所設置する予定である。また、1級河川を管理している県には、引き続き設置を要望していきたい。

●空き家の活用促進
問 空き家を地域の資源として活用するために、また、高齢者の地域における居場所として活用するために、厚木市はどの

ペットの同行避難訓練 実施の検討は

新政あつぎ 望月 真実議員



問 災害発生時に飼い主がペットと一緒に避難所まで安全に避難し、別の場所へ避難することを同行避難と言いますが、避難後に避難所へ一緒に避難することを同行避難と言いますが、平成30年の厚木市防災意識に関する市民アンケートの結果では、ペットと避難訓練をしているのはわずか0.5%であった。今後、単独での同行避難訓練の実施を提案するが、検討は。

答 環境農政部長 環境フェアや市民の皆さまの防災意識が高まる9月の総合防災訓練などで実施したい。また、犬のしつけ教室の際の同行避難訓練は今後も毎年実施していきたい。

問 今後、本市で同行避難は可能になるか。

答 市長室長 市民ニーズも高く、大変重要なことであると認識している。受け入れの方法、



犬のしつけ教室終了後の同行避難訓練

ような支援ができるか。

答 まちづくり計画部長 大学やNPOなど多様な専門家と連携し、空き家の活用に向けた相談体制や活用を促進するための担い手人材、組織づくりに向けた取り組みを進め、活用に向けた支援を行ってみたい。

●商店街の活性化対策
問 商店リニューアル助成制度をつくる考えは。

答 産業振興部長 近隣の状況をさらに研究し、見極め、来年度に見直しをする厚木市商業まちづくり計画の中で検討することを位置付けていきたい。

●公営墓地
問 市民から公営墓地の整備を望む声が多く聞かれるが、本市の考えは。

答 市長 高齢化の進展により墓地の需要の増加が見込まれるとともに、継承者がなく、管理されなくなってしまう墓地への対応など、さまざまな考え方があつて、現在、調査研究している。

障がい児相談支援の 現状と課題は

無党派 高田 昌慶議員



問 市内の障がい児支援事業所の数は著しく少なく、ほとんどがセルフプランで行っているが、現状認識とその課題は。

答 市長 障がい児がサービス等利用計画の相談支援を滞りなく受けられるよう、相談支援事業所の新規開設を働きかけているが、障害福祉サービス利用者の増加に対し、サービス等利用計画の作成が進んでいないため、引き続き相談支援体制の

問 商業地域に庁舎を含む複合公共施設を建てた場合、夜は暗いビルとなり、他の商業施設には邪魔な存在となる。複合公共施設にするメリットが見当たらないうえ、大型ビルの場合、防災設備や避難経路の確保が課題となり、建設コストが割高となるが、見解は。

答 市街地整備担当部長 複合化により、建設コストが約15億円削減され、維持管理費も年間600万円以上削減されると試算している。

●厚木市立病院
問 累積赤字額は、何年度がピークで幾らと試算しているか。

答 病院事業局長 累積赤字額のピークは令和5年度、金額は90億円弱になると予想している。

●SDGs（国連の持続可能な開発目標）
問 防災は大切なポイントで、2017年2月議会でもタイムラインの導入、6月議会でも地区防災計画という新たな概念の整備、2018年9月議会でもESD（持続可能な開発のための教育）を地域防災計画に取り入れる提案をしたが、進展は。

答 市長室長 全戸に配布予定のポケットブックの中で、市民一人一人のマイタイムラインが作成できているので、作成支援をしている。地区防災計画は、現在、市民の皆さまと協働で地区別防災マップを作成している。また、小学校での防災講話や地震車震度体験訓練など、小中学生への防災教育を実施している。

新庁舎建設方針に ついでの見解は

無党派 高田 浩議員



問 商業地域に庁舎を含む複合公共施設を建てた場合、夜は暗いビルとなり、他の商業施設には邪魔な存在となる。複合公共施設にするメリットが見当たらないうえ、大型ビルの場合、防災設備や避難経路の確保が課題となり、建設コストが割高となるが、見解は。

答 市街地整備担当部長 複合化により、建設コストが約15億円削減され、維持管理費も年間600万円以上削減されると試算している。

●SDGs（国連の持続可能な開発目標）
問 防災は大切なポイントで、2017年2月議会でもタイムラインの導入、6月議会でも地区防災計画という新たな概念の整備、2018年9月議会でもESD（持続可能な開発のための教育）を地域防災計画に取り入れる提案をしたが、進展は。

答 市長室長 全戸に配布予定のポケットブックの中で、市民一人一人のマイタイムラインが作成できているので、作成支援をしている。地区防災計画は、現在、市民の皆さまと協働で地区別防災マップを作成している。また、小学校での防災講話や地震車震度体験訓練など、小中学生への防災教育を実施している。

学校のキャッシュレス化 への取り組みは

新政あつぎ 新井 啓司議員



問 学校管理下での児童・生徒のけがなどの医療費など給付に関わる学校の事務は、主に養護教諭が担当しているが、キャッシュレス化の考えは。

答 サッシュレス教育部長 本スポーツ振興センターから給付金が本市に振り込まれた後、学校の口座に移してから養護教諭などが引き出し、保護者に現金でお渡ししている。今後は、本市から保護者の口座に直接振り込む方式に変更していきたい。

●小中学校へのエアコン設置
問 学習環境の充実や、災害時の快適な避難所運営支援と対応は。

答 循環型社会推進担当部長 民間との協定は、大規模災害時の災害廃棄物の収集、運搬および処分に関し、平成22年に市内の2つの協同組合と締結しており、28年には調整会議を設け、平時から三者で集まり、常に課題の抽出や情報共有などを行っている。また、近隣自治体との関係では、廃棄物は県内12の広域ブロックに分けられ、処理が行われているため、被災時は近隣のブロックと協力しながら廃棄物処理を進めていくことを考えている。

台風による 災害危機への対応は

あつぎみらい 渡辺 貞雄議員



問 今回の台風において、現場の最前線で活動された消防の洪水災害防止に向けた対応状況は。

答 市長 消防職および消防団員、総勢660人体制で、人命救助を最優先に市内全域の災害対応に当たった。特に、城山ダム緊急放流の際には、相模川流域の住民の方へ戸別避難を呼びかけるなど、避難指示の徹底を図った。今後も、市民の皆さまの生命、身体

問 今後の台風において、現場の最前線で活動された消防の洪水災害防止に向けた対応状況は。

答 市長 消防職および消防団員、総勢660人体制で、人命救助を最優先に市内全域の災害対応に当たった。特に、城山ダム緊急放流の際には、相模川流域の住民の方へ戸別避難を呼びかけるなど、避難指示の徹底を図った。今後も、市民の皆さまの生命、身体

引きこもり支援への 取り組み状況は

公明党 山崎 由枝議員



問 義務教育を終えてからの切れ目のない支援体制を構築するため、引きこもり専門窓口の創設や訪問支援の拡充に対する考えは。

答 福祉部長 引きこもりの状態にある方は、その状態に至った要因やそれぞれの課題を抱えていることから、専門窓口を置くのではなく、相談者の課題に応じた相談が受けられるよう、各種相談窓口を設置し、連携して対応しているが、さらに国や神奈川県との関係で、相談状況などを動向を研究したい。訪問支援については現在も進んでいるが、今後も引きこもりでお困りの方の状況に応じて対応していきたい。

●通学時の携行品
問 通学時のランドセル

一般質問 主な質問 と答弁

●障害者権利条約
問 国際連合で採択された本条約の「スローガン」「私たち抜きに私たちのことを決めないで」に対し、本市が具体的にしていることは。

答 福祉部長 障がい者が自らの意思で暮らし方を決定できるまちづくりを目指し、意思決定が困難な方には、国が作成したガイドラインに則した適切な支援を行うことが重要と認識している。

●引きこもり支援への取り組み状況は
問 義務教育を終えてからの切れ目のない支援体制を構築するため、引きこもり専門窓口の創設や訪問支援の拡充に対する考えは。

答 福祉部長 引きこもりの状態にある方は、その状態に至った要因やそれぞれの課題を抱えていることから、専門窓口を置くのではなく、相談者の課題に応じた相談が受けられるよう、各種相談窓口を設置し、連携して対応しているが、さらに国や神奈川県との関係で、相談状況などを動向を研究したい。訪問支援については現在も進んでいるが、今後も引きこもりでお困りの方の状況に応じて対応していきたい。

●通学時の携行品
問 通学時のランドセル

地域コミュニティ交通の 今後の進め方は

ネクストあつぎ 難波 達哉議員



問 平成30年度の実証実験では地域コミュニティ交通を通院に利用された方も多く、加速する超高齢社会の中で、地域包括ケア社会の実現に向け取り組むべき事業の一つと考えられているが、市の考えは。

答 福祉部長 生活支援や介護予防の観点からも、地域コミュニティ交通などの外出支援は、地域包括ケア社会の実現に向けた重要な施策の一つであると認識している。

問 担当課が複数にまたがっているため、このプロジェクトを横断的に進められる庁内組織が必要であると思うが、考えは。

答 総務部長 引き続き関係する部門など意見を聞き、十分な体制を取ってみたい。

●指定管理者制度の検討状況
問 29年3月にも同様の質問を行ったが、庁内の質問を行ったが、庁内

アユの中間育成施設の完成

相模川のアユの安定供給と併せ、漁業従事者の所得の向上や観光拠点としての期待が膨らんでいる。完成した施設の能力と効果は。

問 相模川のアユの安定供給と併せ、漁業従事者の所得の向上や観光拠点としての期待が膨らんでいる。完成した施設の能力と効果は。

答 鳥井理事 放流用アユ種苗の生産が年間約3トンから8トンになり、県内産アユの自給率が向上し、アユ種苗の供給がより安定的になって、アユを活用した6次産業化などに大きく寄与する。



三田地区に整備されたアユ中間育成施設

ホームページの 議会情報

厚木市議会では、より開かれた議会を目指し情報発信に努めており、ホームページで次の情報がご覧いただけます。

- ◆インターネット議会中継
本会議・常任委員会・特別委員会などの生中継と録画中継
- ◆会議録
（本会議・常任委員会など）委員会の会議録を掲載するまでの間、委員長報告を掲載しています。
- ◆市議会だより
- ◆その他
議員名簿、議会問答、一般質問と答、子ども議会、議会データ、議会ニュース、議会情報ページ、議長交際費など。

厚木市議会 検索



複合施設などの建設予定地である中町第2-2地区

移動困難の解消に向けた取り組みは

新政あつぎ 石井 芳隆 議員



問 日常生活における現状と対応は。

答 市長 コミュニティ交通の実証実験など、日常生活に必要な移動手段の確保に向けた取り組みを積極的に進めている。

問 今後の皆さまで、市民の皆さまで、交通環境の充実に向けていく。

答 まちづくり計画部長 生活支援サービス全般に携わる地域の生活支援体制整備協議体の活動が重要である。庁内で問

相模川の三川合流点で試験的な事業が展開されたが、こうした河川空間のオープン化について推進を図る上での課題は。

答 市長 国や神奈川県が定める河川整備計画の基準に適合し、治水上および利水支障がない場所の選定が必要である。

問 昭和63年に管理基本計画が策定されて以降、30年間にわたり見直されていないが、計画上の位置付けをランクアップできないか。

答 都市整備部長 関係機関と調整を行い、今後の状況などを含め内容を確認し、検討したい。

少量排出事業者の産業廃棄物を有料回収する考えは

無党派 後藤 由紀子 議員



問 小規模事業者から排出される少量の産業廃棄物を市で有料回収する考えは。

答 市長 廃棄物の処理及び清掃に関する法律で、産業廃棄物は事業者が自ら処理しなければならぬと定められている。小規模事業者から排出される産業廃棄物の処理については、法律の趣旨を踏まえ調査研究していく。

●認可保育所の衛生管理

問 厚木市独自にガイドラインを作成する考えはあるか。

答 こども未来部長 国のガイドラインは詳細にわたって記載されてい

る。ことから、各保育所にはそのまま活用いただいている。

●保育環境の充実

問 幼児教育・保育の無償化に対応した、保育園に対する補助金制度などにはどのようなものがあるか。

答 こども未来部長 無償化への対応に特化したものではないが、本市独自の補助メニューを用意しており、主要なものとして、保育人材の雇用に関する補助、AEDの設置、使用済み紙おむつの処分費などがある。

問 使用済み紙おむつの処分費用は、全額市が

負担するとういう理解で良

いか。

会議録の閲覧を！

本会議や委員会の詳しい内容は、インターネットや市政情報コーナー(本庁舎1階)などで会議録を閲覧してください。なお、会議録ができての間は、インターネット議会中継(録画放送)も閲覧になれます。

災害時における避難所情報の提供は

あつぎの会 名切 文梨 議員



問 台風19号に伴う避難の際、市で把握していた避難所の定員状況などの情報発信が不十分であったが、対応策は。

答 市長室長 台風19号の教訓を踏まえ、当日の避難所および避難施設の状態を、随時提供できるように発信をしていきたいと考えている。

●新庁舎建設

問 中町第2・2地区に庁舎を含む複合施設を建設するには一団地認定の解除が必要ではないか。

答 許認可担当部長 保健福祉センターおよび中町立体駐車場は複合した一団地認定で建てた。今回の複合施設は一部その敷地が絡むため、一団地との整合性がとれなくなるので、いったん解除することになる。

問 敷地内の民有地などの調整は完了しているか。

答 市街地整備担当部長 民有地の所有者とは継続的に協議している。

問 事業手続に関する順番が間違っていないか。

答 市街地整備担当部長 権利者の方とかなり詰めた協議をしており、協力するとお話をいただいた上で進めている。

●幼児教育・保育の無償化

問 保育料無償化に伴い、市の負担が年間約4億円減るが、副食費の無償化に充ててはどうか。

答 財務部長 子ども

の施策を限られた財源の中でどのように行っていくかは、いろいろな角度から実施していきたいと考えている。

指定緊急避難場所としての公民館の役割は

公明党 遠藤 浩一 議員



問 平時に台風などの被害を想定した運営シミュレーションが必要では。

答 市長室長 公民館は短期的な避難を想定しており、要配慮者に対するスペースを設ける対策を講じるとともに、事前に避難先の収容人数、避難者数、トイレ、階数などの情報提供を行っていきたく考えている。

●生命を育む食

問 生命を育む食という考え方における本市の見解は。

答 市長 平成28年策

画策定への背景と大意は。

問 第2次健康食育あつぎプランが目指している、子どもの頃から食や命の尊さを大切にすることを育み、栄養バランスのよい食事や安全な食品を選択する力をつけること、食への感謝の気持ちやマナーを身につけること、地元食材を無駄なく活用することの食育の取り組みが、生命としての生きる力を育むことにつながると認識している。

●地域福祉の推進

問 (仮称)厚木市成年後見制度利用促進基本計画策定への背景と大意は。

答 市長 本市では、権利擁護支援センターや地域包括支援センターなどと連携し、成年後見制度の利用相談および後見業務などに関するさまざまな支援を進めている。権利と利益を守り、誰もが自分らしく暮らせるまちづくりを基本理念に、成年後見制度の利用促進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、策定するものである。



本市では、保護者が安心して子どもを預けられる環境整備の充実に努めている

本市の公園の現状と課題は

ネクストあつぎ 瀧口 慎太郎 議員



問 遊具の点検方法と、危険遊具への対応状況は。

答 都市整備部長 専門の技術者が、国土交通省の指針に基づき点検している。平成30年度に危険性の高い遊具21件を、全て修繕や撤去した。

問 保護者などから乳幼児用遊具の設置を望む声を聞くが、設置状況は。

答 都市整備部長 厚木中央公園と、あさひ公園に設置をしている。

問 ほうさいの丘公園などの郊外の公園や、子育て世代が集う公園の遊

具更新の際に、乳幼児用の遊具を設置する考えは。

答 都市整備部長 公園のリニューアル整備を行う際は、利用者の方々のご意見を伺いながら、設置を検討していきたい。

問 ドッグランの設置は、公園でのスペース確保が難しいとのことだが、それ以外に課題はあるか。

答 都市整備部長 利用者が限定されること、近隣住民などの理解や常駐管理者が必要なことによる管理コストの増大などがある。



あつぎの会



問 相模川三川合流点の整備に合わせ、ドッグランを設置する考えは。

答 都市整備部長 関係機関や地域の皆さまの意見を伺い検討していく。

●オリピック・パラリンピックのホストタウン

問 本市として総括は。

答 オリピック・パラリンピック担当部長 ニュージールランドと交流を深めるため、5つの交流事業を展開した。2020年を超えて交流が続くよう、今後もさまざまな事業に取り組んでいく。

委員会・分科会の審査

条例・補正予算など

—主な質疑と答弁—



条例の改正や補正予算などの議案について、委員会・分科会での主な質疑と答弁を紹介します。

総務企画

○厚木市職員の給与に関する条例及び厚木市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について

問 今回、人事院勧告に沿って金額を上げるのは、どの世代の職員が対象か。

答 おおむね35歳までの職員が対象になっている。

○工事請負契約の締結について

問 工事の概要および交通への影響は。

答 厚木中央公園の西北角をシールド工事の発信基地とし、立て坑と作業ヤードとして防音ハウスを設置し、ここから貯留管を整備する。厚木中央公園周辺は通学路になっており、学校と協議を行う。特に、公園北西側は工事車両の搬入口となるため、交通誘導員を配置して時間帯や歩行者の通行にも注意し、安全

の確保を最優先に工事を施工する。

問 工事完成時、1時間当たり何リットの雨量まで浸水を防げるのか。

答 おおむねで降雨1時間当たり65リットルに対して、10リットル以下の浸水深に抑制できると考えている。

○令和元年度厚木市一般会計補正予算(第6号)〔所管科目〕

問 防災備蓄品整備事業費増について、防災備蓄品の内訳は。

答 主なものとして、おむつ2000枚、土のう袋1万400枚、毛布3500枚、マスク1万枚である。

問 財政調整基金は最高で30億円台であったと記憶している。それ以上は、貯金型の形を取れないと聞いたが、今でもそのとおりか。

答 いくらまでというルールはない。一般的には、財政調整基金は標準財政規模の10%が望ましいとされている。標準財政規模は自治体の年収の

ようなものであり、厚木市の標準財政規模は450億円から500億円程度であるため、40億円から50億円が一般的には望ましいとされている。しかしながら、本市は不交付団体で社会情勢の影響により法人市民税の増減が直接予算に影響すること、また、法人市民税の還付なども多額にあるため、突発的な事項に対応するために、少なくとも標準財政規模の20%である90億円から100億円程度を目標として、現在積み立てを行っている。

令和元年度末のふるさと納税などを除いた純粋な財政調整基金の残高は97億円程度で、比較的順調である。

市民福祉

○厚木市営自転車等駐車場条例の一部を改正する条例について

問 今回の条例改正の経過は。

答 現在、市営自転車等駐車場は本厚木駅周辺に6カ所、愛甲石田駅周辺に3カ所ある。料金は、本厚木駅北口自転車等駐車場を除き、一律同額であった。この結果、全体の利用率に余裕はあるが、利用者は駅の近くや設備が充実している場所を求めて一部の駐車場でキャンセル待ちが出ている。さらに、民間施設と比べて安価な料金設定であるため、民間施設の利

用率が低下している。そこで、令和2年4月の旭町二丁目自転車等駐車場の開設に併せ、利便性に応じた公平性の確保と市営、民営双方の運営環境の改善を図るため、料金改定を行うことにした。また、さまざまな利用者の意見を聞くため、アンケート調査、意見交換会やパブリックコメントなども実施した。

新たな駐輪場ができる中で、今後の民間施設への影響は。

答 一時駐輪を含め民間施設の利用率は、自転車で約6割、オートバイで約7割である。利用料金がほぼ同じとなるため、市営の利用者が民間に移行すると考えている。特に、中町一丁目の駐輪場は3年度に廃止予定のため、民間を利用するよう働きかけていく。

○令和元年度厚木市一般会計補正予算(第6号)〔所管科目〕

問 台風19号による本市施設への被害について、どのような復旧工事か。

答 七沢自然ふれあいセンター集会所の進入路にあるのり面が崩壊したため、復旧に必要な測量を実施した後、地質調査を行うっていく。

○厚木市斎場の火葬棟奥にあるのり面の一部が崩落したため、崩落した面に植生ネットなどを張り固定するとともに、崩落防止柵を設置する。

問 生活保護支給事業

費増について、どのような保護基準の見直しがあったのか。

答 生活保護費の生活扶助基準について、5年に一度、国の社会保障審議会の生活保護基準部会で検証している。今回、消費税率の引き上げに伴う影響を考慮して、生活扶助部分についてプラス1・4%、その他の加算などはプラス1・9%の引き上げを実施する。

環境教育

○厚木市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例について

問 動物の死体の手数料を2000円から7000円に引き上げる理由は。

答 動物1体にかかる経費が、現在約7000円となっていることから、引き上げるものである。

○令和元年度厚木市一般会計補正予算(第6号)〔所管科目〕

問 林道維持管理事業費増の内容は。

答 台風19号の影響で、七沢地区内にある大沢林道と南沢林道のり面が崩壊した。のり面を保護するため、大型土のうを積み復旧工事を行う。

○厚木市公共下水道事業の設置等に関する条例について

問 金額ベースで被害が大きかった広場は。

答 一番被害が大きかったのが上依知青少年広場で、土砂が大量に流出したため5000万円を計上している。次に大きいのは、面積の広い酒井スポーツ広場で1893万円を計上している。

都市経済

○厚木市公共下水道事業の設置等に関する条例について

問 条例を制定するメリットは何か。

答 固定資産台帳を所有し、財務諸表を作成することで、資産価値が数値化されることが大きなメリットである。これにより、施設の老朽化度合いや将来予測される負担が把握しやすくなり、より計画的な投資活動を行うことができる。

○厚木市立野外ステージ条例を廃止する条例について

問 市内の野外ステージは飯山白山森林公園だけか。若宮公園や厚木公園の野外ステージは、本条例の対象外か。

答 若宮公園や厚木公園の野外ステージは、都市公園の中の施設として位置付けをしており、本条例の対象外となっている。飯山白山森林公園は、都市公園の設定がないため、野外ステージは、条例を制定し位置付けをする必要があり、本条例の対象となる。

○厚木市荻野運動公園指定管理者の指定について

問 指定管理者から、独自の新しい事業の提案があったのか。

答 新しい提案の中に、高齢者向けのプログラムの拡大や、子どもの一時預かりの実施、園内サイロの更新、芝刈り機の導入、園内監視カメラの新規設置など、事業者自ら5年間で約4000万円の投資を行い、施設の改善や公園の魅力向上を図るプログラムの提案があった。

委員会の行政視察

委員会では、所管する事項について情報招集し、専門的知識を深め、優れた施策を市政や市議会運営に反映させるため、先進都市を訪問し、調査を行っています。

このほど実施した中心市街地活性化特別委員会の行政視察は次のとおりです。

◆中心市街地活性化特別委員会

令和元年11月13・14日、新庁舎建設事業、尾張一宮駅前ビル(i-ビル)について(愛知県一宮市)



本会議の審議結果

第5回会議(12月定例会議)提出案件		各党派などの賛否 ○…賛成、●…反対、 -…欠席								議決結果		
		ネク ス	公 明 党	新 政	み ら い	あ つ ぎ	共 産 党	無 会 派 A	無 会 派 B		無 会 派 C	無 会 派 D
議案第89号	厚木市公共下水道事業の設置等に関する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第90号	厚木市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
議案第91号	厚木市常勤特別職職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
議案第92号	厚木市職員の給与に関する条例及び厚木市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第93号	厚木市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第94号	厚木市営自転車等駐車場条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第95号	厚木市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第96号	厚木都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	可決
議案第97号	厚木市公共下水道使用料条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	可決
議案第98号	厚木市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例及び厚木市下水道条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第99号	厚木市立野外ステージ条例を廃止する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第100号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第101号	厚木市荻野運動公園指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第102号	厚木市と清川村との一般廃棄物(し尿及び浄化槽汚泥)の処理に関する事務委託に係る協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第103号	厚木市と清川村との一般廃棄物(可燃性一般廃棄物及び粗大ごみ)の処理に関する事務委託に係る協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第104号	厚木市と愛川町との一般廃棄物(可燃性一般廃棄物)の処理に関する事務委託に係る協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第105号	厚木愛甲環境施設組合の規約変更に係る協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第106号	令和元年度厚木市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第107号	令和元年度厚木市公共用地取得事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第108号	令和元年度厚木市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第109号	令和元年度厚木市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第110号	令和元年度厚木市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第111号	令和元年度厚木市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第112号	令和元年度厚木市病院事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
請願第2号	安全・安心の医療・介護の実現のため夜勤改善と大幅増員を求める意見書を国に提出することを求める請願	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	不採択
請願第3号	「介護施設の人員配置基準の引き上げ」のために国に対し意見書の提出を求める請願	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	不採択
陳情第5号	厚木市行政文書(公文書)管理条例(仮称)制定に向けた検討を求める陳情	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	不採択
陳情第6号	私学助成の拡充を求める意見書を国に提出することを求める陳情	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
陳情第7号	私学助成の拡充を求める意見書を神奈川県に提出することを求める陳情	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択

◎令和元年12月20日議決時の党派構成など

※議長…寺岡まゆみ(議長は採決に加わりません)、副議長…井上武

※党派等表記、正式名称、議員数、所属議員(―は代表者)

ネクス…ネクストあつぎ(8):難波達哉、奈良直史、三橋文男(欠席)、田口孝男、高橋豊、瀧口慎太郎、井上武、神子雅人 公明党…公明党(5):川口仁、寺岡まゆみ、遠藤浩一、山崎由枝、田上祥子 新政…新政あつぎ(5):石井芳隆、望月真実(陳情第6・7号賛成)、高村真和、高橋知己、新井啓司 みらい…あつぎみらい(2):渡辺真雄、松田則康 あつぎ…あつぎの会(2):名切文梨(議案第112号反対、請願第2・3号賛成、陳情第5・6・7号賛成)、井上敏夫 共産党…日本共産党(2):栗山香代子、池田博英 無党派A…無党派(1):高田浩 無党派B…無党派(1):松本樹影 無党派C…無党派(1):後藤由紀子 無党派D…無党派(1):高田昌慶

第14回 議会報告会を開催しました

第14回議会報告会は、令和元年11月16・25日の2日間、あつぎ市民交流プラザなどで開催し、合計で45人の方々にご参加いただきました。

16日の報告会では、「家庭ごみの戸別収集と有料化について」「市庁舎を含む複合施設の建設について」をテーマに、ワールドカフェ方式によりグループに分かれて活発な意見を伺いました。

25日の報告会では、厚木市明るい選挙推進協議会の委員と「投票率の向上について」など、活発な意見交換を行いました。

各会場でいただきましたご意見などは、今後の議会活動の参考とさせていただきます。



11月16日 市民の皆さま



11月25日 厚木市明るい選挙推進協議会

第1回会議(2月定例会議)の開催予定

日	月	火	水	木	金	土
2/23	24	25	26	27	28	29
天皇誕生日	振替休日	本会議	本会議、 予算決算 常任委員会			
3/1	2	3	4	5	6	7
		一般質問	一般質問	一般質問		
8	9	10	11	12	13	14
	総務企画 常任委員会 分科会	市民福祉 常任委員会 分科会		環境教育 常任委員会 分科会	都市経済 常任委員会 分科会	
15	16	17	18	19	20	21
				予算決算 常任委員会 (13:00~)	春分の日	
22	23	24	25	26	27	28
	本会議、 広報広聴 特別委員会					

会議は、原則として午前9時に開きます。傍聴は、本庁舎5階ロビーで受け付けます。